

## 案件概要書

2016年12月13日

**1. 基本情報**

- (1) 国名：ジョージア
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：イメレティ州
- (3) 案件名：東西ハイウェイ整備計画（フェーズ2）  
（East-West Highway Improvement Project（Phase 2））
- (4) 事業の要約：ジョージアの幹線道路である東西ハイウェイのうち未改修区間であるイメレティ州のアウグヴェタ～ズィルラ間にて既存道路の改修及びトンネル・橋梁の建設等を行うことにより、ジョージアひいてはコーカサス地域全体の輸送力強化を図り、もって同国の経済インフラ整備を通じた同国及び地域の経済発展に寄与するもの。

**2. 事業の背景と必要性**

- (1) 当該国における運輸・道路セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け  
ジョージアの運輸システムは、隣接国と接続する道路と鉄道による陸上輸送に加え、黒海沿岸のポチ港やバトゥミ港を中心とする海上輸送及び空路から構成される。陸上輸送のうち約 22,000km の道路網が運輸システムの中核を成しており、貨物輸送量の 4 割、旅客輸送の 9 割以上を道路輸送に依存している。同国は、欧州と中央アジアを最短距離で結ぶルート上に位置し、カスピ海産の石油・ガスのパイプラインの経由地として、またコーカサス地域における物流の中継基地として重要性を高めている。

東西ハイウェイはアゼルバイジャン共和国国境から黒海沿岸を結ぶ約 460km の国際幹線道路であり、ヨーロッパとアジアを結ぶ重要な国際交通網の一部を構成し、地域全体にとって大きな重要性を持っている。また、ジョージア国内における国際陸上輸送貨物の約 60%が東西ハイウェイにより輸送されており、2005 年以降の東西ハイウェイの交通量は、年平均 12%の伸びを見せている。

同国の開発計画「Georgia 2020」では、国内・国際物流輸送の効率化、道路輸送網の安全性と物流中継基地としての利便性の向上、地域経済振興を目的とした道路整備を重視しており、東西ハイウェイ整備を最優先事業の一つと位置付けている。本事業は、東西ハイウェイのうちアウグヴェタ～ズィルラ区間を対象としており、同区間を含むアウグヴェタ～チュマテレッティ間は東西ハイウェイで未改修区間の一つとして物流のボトルネックとなっている。同区間は山間部の狭隘な地形に位置しており、物流の効率化に向けてトンネルや橋梁の建設が必要であることに加え、斜面災害による寸断のリスクが高く、落石や地すべり対策等の適切な道路安全対策を施すことが安全性の向上のためにも必要不可欠である。

- (2) 運輸・道路セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

我が国の対ジョージア国別開発協力方針（2014 年 4 月）では、「経済インフラ整備」を重点分野とし、「運輸プログラム」の下で地方部において劣化が進む道路インフラの整備を行うこととしており、本事業は当該方針に合致する。

### (3) 他の援助機関の対応

世界銀行、アジア開発銀行（以下、「ADB」という。）、欧州投資銀行（以下、「EIB」という。）はこれまでも東西ハイウェイの整備及び地方道路の整備事業を数多く実施している。

### (4) 本事業を実施する意義

本事業は、国際幹線道路の未改修区間の改修及びトンネル・橋梁の建設等を行うことを通じて同国及びコーカサス地域の輸送力増強を図り、もって、周辺国を含めた地域経済の発展に寄与するものであり、同国の開発課題・開発政策及び我が国の援助方針と合致する。また、SDGs ゴール 8「持続可能な経済成長」及びゴール 9「強靱なインフラの構築」に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

## 3. 事業概要

### (1) 事業概要

#### ① 事業の目的

ジョージアの幹線道路である東西ハイウェイのうち未改修区間であるイメレティ州のアウグヴェタ～ズィルラ間にて既存道路の改修及びトンネル・橋梁の建設等を行うことにより、ジョージアひいてはコーカサス地域全体の輸送力強化を図り、もって同国の経済インフラ整備を通じた同国及び地域の経済発展に寄与するもの。

#### ② 事業内容

##### ア) 道路工事

アウグヴェタ～ズィルラ（既存 2 車線道路改修（トンネル（10 か所）・橋梁（18 か所）の建設含む）及び拡幅（4 車線化）、17.2km）

イ) 道路安全対策（落石、地すべり対策等）

ウ) コンサルティング・サービス（詳細設計レビュー、入札支援、施工監理等）

#### ③ 他の JICA 事業との関係

「東西ハイウェイ整備事業」及び「東西ハイウェイ整備事業（II）」にて、今次要請のあった区間に隣接するゼスタフォニ～クタイシ～サムトレディア間の東西ハイウェイの整備を支援中であり、本事業の区間が改修されることで、現在支援中の事業との相乗効果が見込まれる。

### (2) 事業実施体制

#### ① 借入人

ジョージア（Georgia）

#### ② 事業実施機関／実施体制

地域開発・経済基盤省道路局（Roads Department, Ministry of Regional Development and Infrastructure。以下「RDMRDI」という。）

#### ③ 他機関との連携・役割分担

東西ハイウェイの整備に当たっては、世界銀行、ADB、EIB との協調融資（パラレル）で事業実施中。今次要請のあったアウグヴェタ～ズィルラ区間を含むア

ウグヴェタ～ヘヴィ区間は世界銀行が実施したF/Sを基にADBがEIA案等の作成及び詳細設計(D/D)を実施予定。ヘヴィ～チュマテレット区間は世界銀行が、ズィルラ～ヘヴィ区間はADB、EIB及び韓国輸出入銀行との協調融資にて実施される見込み。なお、本調査はADBが実施するD/Dのレビュー及び本邦技術の活用を目的として追加調査を行うもの。また、JICAは「質の高いインフラパートナーシップ」の連携枠組みにかかる業務協力の覚書を2015年にADBと締結しており、本事業をジョージアにおける質の高い公共インフラ整備促進に資する案件及び協調融資枠組みの候補としてADBと協議を進めている。

#### ④ 運営／維持管理体制

近年 RDMRDI への予算配賦は増加傾向にあることに加え、RDMRDI を対象とした本邦研修等を通じて技術力の向上が図られているが、技術面・財務面ともに運営・維持管理能力に問題がないか、協力準備調査で確認する。

#### (3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ■A □B □C □FI

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010年4月公布)に掲げる道路セクター及び影響を及ぼしやすい特性に該当するため。

#### (4) 横断的事項

特になし

#### (5) ジェンダー分類

ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

#### (6) その他特記事項

本事業では、トンネル掘削技術や地すべり対策、落石防護ネット等での本邦技術活用が見込まれる。なお、「東西ハイウェイ整備事業 (I)、(II)」の本体工事はイタリア及び日本の共同企業体が受注しており、2017年中に完工予定。

### 4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

ラオス人民民主共和国「第2メコン国際橋架橋事業」の事後評価結果等においては、広域的な道路網開発の物理的なボトルネック(missing link)の整備を行う場合、国境を跨ぐ広域的・包括的な観点からのインフラ整備が重要であり、このためには橋梁を直接結ぶ道路網のみならず、他の道路網・交通網の整備状況や開発計画も十分分析・検討した上で案件準備を行うことが重要であるとの教訓を得ている。本事業はアゼルバイジャン共和国国境からの国際幹線網道路の整備であるため、世界銀行、ADB、EIBによる他事業の進捗の確認及びジョージアの開発計画の検討を十分に行う。

以上

